



北海道日本ハムファイターズ

## 近藤健介選手インタビュー（先輩からの一言）

KB野球連盟は今年で14年目を迎えました。これまでに多くのKボール球児が巣立っていきましたが、その中で24人のプロ野球選手が誕生し、活躍しています。今回は、北海道日本ハムファイターズで主に三塁手として活躍している近藤健介選手（20才）に、KB大会での思い出話や、後輩の皆さんへのアドバイスなどを聞きました。

Q: KB大会への思い出を教えてください。

千葉県選抜の一員として秋季大会に参加しました。全国の優秀な選手たちと一緒にプレーし刺激を受けました。

Q: 中学時代はどんな野球少年でしたか。

とにかく野球ばかりでした。でも野球ノートは毎日書いていましたね。野球が好きだったので楽しかったです。

Q: 日本ハム球団にもKボーラーがいるそうですね。

中村勝さん、鍵谷さん、上沢がKボール握っていたようです。楽天の三好君は同じ秋季大会に参加し優勝しましたね。僕たちは3位でした。

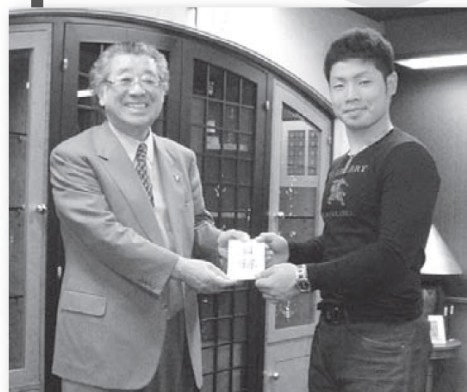
Q: 高校野球を目指す選手に一言お願いします。

確かに硬球へはスムーズに慣れることができました。高校野球の2年半は短いので、中学野球から上手につながるようにしたほうがよいですよ。そのためには重いバットを振ることが大切です。

### profile

#### 近藤健介

1993年8月9日生まれ 千葉県出身  
千葉マリナーズ→横浜高→北海道日本ハム  
(2011年ドラフト4位)  
捕手、内野手  
173cm、85kg 右投げ/左打ち  
背番号 54



▲ 2011年12月、入団が決まり志太会長に報告。また、東北の被災地にKボール30タースを寄贈し、その目録をお渡ししました。

北海道日本ハムファイターズ

## 近藤健介選手にインタビューしました！！

Q: 近藤選手が参加した大会の思い出を教えてください。

A: 千葉県選抜の主将として大会に参加しました。レベルの高い選手たちと戦い、目指す目標ができました。ソフトバンクの武田投手や楽天の三好選手も出場していました。

Q: 高校野球を目指す軟式球児にアドバイスをお願いします。

A: 高校に入って差が大きいのは打撃に関してだと思います。900gを超えるバットの重さに慣れることが大変だと思います。私は中学時代に2000gのマスコットバットを振っていました。これからの時期に、振る力をつけることが大切だと思います。

Q: プロ野球選手になるために、中学時代や高校時代にやるべきことを教えてください。

A: 私の中学時代はとにかく練習をしました。今ある技術の多くは中学時代に身につけたといえます。基本的な技術の習得は中学時代かなと思います。高校では考えて野球をすることを学びました。相手との駆け引きや戦術などです。でも、野球が好きでいることが一番大切なと思います。中学、高校とも苦しいことはありましたが、やめたいとは思いませんでした。野球を大好きでいることが一番かなと思います。

近藤選手、ありがとうございました！



### profile

写真提供：NPB エンタープライズ

#### 近藤健介（こんどうけんすけ）

1993年8月9日生まれ 千葉県千葉市出身  
修徳学園中→横浜高（甲）→日本ハム（2011年  
ドラフト4位）2017侍ジャパンに選出  
173cm 85kg 右投/左打 背番号8  
2017年野球界の発展のため、出身地に野球練習場を開設